

# 第1回島田市総合計画審議会 会議要録

## 1 日時

令和6年9月19日(木) 19:00~20:50

## 2 場所

島田市役所3階 大会議室

## 3 出席者

委員：岡村委員、岡本委員、奥山委員、栗原委員、甲賀委員、小塚委員、新聞委員、杉本委員、鈴木委員、高森委員、土屋委員、寺尾委員、戸田委員、原崎委員、松浦委員、森委員、山本委員

オブザーバー：吉良静岡県中部地域局長

事務局：染谷市長、牛尾副市長、小野戦略推進課長、大石課長補佐、牧野主査、曾根主事、久保主事

傍聴者：0名

## 4 資料

- ・資料1 次第
- ・資料2 島田市総合計画審議会委員名簿
- ・資料3 島田市の現状について
- ・資料4 第3次島田市総合計画策定方針(案)
- ・資料5 第3次島田市総合計画策定方針(案)\_概要版

## 5 内容

(開会)

(委嘱状交付・委員紹介)

- ・島田市総合計画審議会条例第3条第2項に基づき、染谷市長が島田市総合計画審議会委員を委嘱(計17人)
- ・事務局が各委員及びオブザーバーの氏名、政策分野を紹介の後、それぞれが挨拶

(会長・副会長選出)

- ・A委員が会長に森委員、副会長に小塚委員を推挙
- ・全委員の互選を経て、会長に森委員、副会長に小塚委員を選出

(市長諮問)

- ・染谷市長から「1 第3次島田市総合計画基本構想の策定に関すること」、「2 第3次島田市

総合計画基本構想に基づく基本計画の策定に関すること」の2点について、森会長あてに諮問

(市長あいさつ)

- ・御出席の皆様におかれては、本審議会委員を快くお引き受けいただき、感謝申し上げます。
- ・第2次島田市総合計画の期間中は、将来の人口減少社会を見据えた、教育の質を落とさない取組や、市民の安心・安全のよりどころ確保等の施策を実施してきたところ。他方、国内では、東京一極集中や人口減少、新型コロナウイルス感染症の拡大、物価高騰など大変厳しい社会情勢であった。先行きが不透明かつ将来予測が困難な中で、今後は、柔軟かつスピード感を持った対応が必要となる。
- ・10年、20年先を見据え、前例にとらわれることなく、持続的に発展させていくための計画にすべく、委員の皆様には忌憚のない御意見を頂戴したい。

(会長あいさつ)

- ・第2次島田市総合計画の審議会に引き続き、会長を仰せつかる。
- ・第2次島田市総合計画を策定後、新型コロナウイルス感染症や戦争など予測できない事態が起きたことから、細かい指標にとらわれず、島田市のこれからのあり方を踏まえ、大きな方向性を定めていくことが重要という認識。
- ・皆様の意見を伺いながら、よい計画にできればと思う。

(事務局紹介)

- ・第3次島田市総合計画の策定を担当する事務局職員がそれぞれ自己紹介

(議事)

(1) 島田市の現状について

資料3に基づき、小野戦略推進課長より説明

【質疑応答】

会 長：島田市のことが好きな市民の割合について、めざそう値を設定しているが、反対に好きではない人の把握は行っているか。

事務局：把握していない。

B委員：市民意識調査について、どのような形式で、誰を対象に行っているのか、詳細を伺いたい。

事務局：調査対象の2,500人は、年代別の人数や地域の偏りを平準化すべく調整した上で無作為にて抽出し、決定している。

C委員：本計画は、市民意識調査の島田市のことが好きな市民の割合の目標値(81%)を達成するためのものとの理解でよいか。また、当該目標値は、島田市の人口減少を抑制するために必要な指標との理解でよいか。

事務局：そのとおり。島田市のことが好きな市民の割合を増やし、移住や定住をしてくれる人が増加する取組を続けながら、2060年の推計人口約6万人に対し、約2万人の減少抑制を図ることで8万人を維持したい。

D委員：めざそう値の目標値には「基準値以上」という記載のあるものがあるが、基準値とは何を根拠に設定しているのか。

事務局：各指標の令和2年度における実績値を基に設定している。

## (2) 島田市総合計画策定方針について

**資料4**及び**資料5**に基づき、小野戦略推進課長より説明

### 【質疑応答】

E委員：かなうえるや蓬萊橋の整備など第2次島田市総合計画における取組事例の効果等については、市民アンケートやワークショップのタイミングで把握する予定か。

事務局：そのとおり。

F委員：DXやGX、SWOT分析の意味について、普段聞きなれない言葉であったため説明をお願いしたい。

事務局：DXについては、人口減少が進む中で、例えば従来、紙で行っていた各種申請を、スマートフォンのみでいつでも、どこでも実施を可能にする取組など、デジタル技術を活用し市民の満足度を上げていくことと理解している。GXについては、後日回答させていただく。SWOT分析については、課題を市の外部環境と内部環境の組み合わせからなる4つの領域へと分類する手法である。計画策定の背景となる社会情勢、市の現状、市民意識調査の結果などを踏まえて、今後のまちづくりにおいて解決していくべき課題の方向性を整理するために活用している。

### (その他)

事務局：第2回島田市総合計画審議会は、令和7年2月13日（木）の開催を予定している。次回以降は審議内容のボリュームが多くなることから、必要に応じて経過資料を送付し、事前に内容の確認や意見の照会をすることがある。

### (閉会)

20:50 会議終了